

日時・場所	令和元年 12 月 23 日（月） 8 時 45 分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、吉川病院事務部長、小山総務部長、三上総務部政策監、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、野崎都市建設部長、遠藤環境経済部長、川端会計管理者、川端教育部次長(代)、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- ・今年の仕事も今週で終わりだが、今年から仕事納め式を廃したため、このような形で一堂に集まってもらうのはこれが最後になる。この1年、市民とまちのために頑張っていたでき、それなりの成果が出たと思う。年度の区切りは3月末だが、12月も1年の区切りとして大事であるので、それぞれの職員が成果の実感を得てもらいたい。
- ・働き方改革について検討してもらっているところだが、本来の目的は仕事の質を上げることや使命感を達成することである。しかし、国も含めて取り組んでいるのは、過労死の問題や超過勤務を減らすといった小さなことであり、些末化されてしまっている。野洲市では、改めて仕事の質を上げたり、それぞれの職員が達成感ややりがいを持ってもらう仕事はどうあるべきかという点で議論してもらっている。全ての職場に影響が及ぶことであるため、人事課や総務部だけの話ではないという視点を持って取り組んでもらいたい。
- ・今日のニュースにもなっていたが、小学校の授業でプログラミングが必修化されることを受け、民間事業者がビジネスチャンスと捉えて乗り出してきている。また、教育委員会からパソコンを生徒・児童に1人1台配置することについての協議があった。しかし、現場では先生が足りないのに、機械を入れるために業界が浮足立っており、本末転倒である。問題となっている大学入試についてもそうだが、こうしたことに惑わされず、青少年や児童・生徒の成長を見ながら事務を進めてもらいたい。

2. 議題

① 仕事納め式・仕事始め式について

令和2年仕事始め式を令和2年1月6日9時から野洲文化小劇場で開催する。仕事納め式については、市が新たにに取り組むべき課題が多様化し複雑化する中で、仕事始め式と統合することにより業務の代謝を行う。綱紀粛正については庁議及び電子掲示板で徹底を図る。

② 令和元年度野洲市職員研修（認知症サポーター養成研修）開催要項について

窓口や職場で認知症者への対応が適切に行えるよう、若年性認知症を含めた認知症についての正しい理解と、必要な知識や技術の習得を目的に、管理職以外を対象に認知症サポーター養成研修を実施する。なお、管理職でも希望すれば参加できる。部長会議後、電子掲示板にて周知する。

③ 令和元年度人事評価等に関するスケジュールについて

令和元年度人事評価等に関するスケジュールについて報告する。部長会議終了後、電子掲示板にて周知を行う。

④ 滋賀県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び滋賀県市町村職員退職手当組合同約の変更について

令和2年3月31日をもって、滋賀県市町村交通災害共済組合が解散することに伴い滋賀県市

町村職員退職手当組合を脱退されることから、同退職手当組合同約を改正する必要があるため、関係地方公共団体が協議することについて議会の議決を求める。

⑤ 野洲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について

子育て世帯への経済的支援及びこどもの保健の向上の推進を図ることを目的に、こどもの医療費助成の対象者を拡大するため、一部改正を行う。こどもの通院医療費について、現行の制度では乳幼児までを助成対象としているが、これを小学3年生まで拡大する。ただし、小学1年生から小学3年生までは、1診療報酬明細書あたり500円（調剤報酬明細書には適用しない）を控除した額を助成するものとする。なお、施行日は令和3年4月1日とする。

⑥ 野洲市こどもの家条例の一部を改正する条例について

篠原こどもの家の増築に伴い、当該こどもの家の名称変更と増築した施設の追加による改正を行うもの。既存の篠原こどもの家を篠原第一こどもの家として名称変更し、増築した施設を篠原第二こどもの家として開設する。

3. その他伝達事項

なし

4. 次回部長会議の予定

令和2年1月6日（月）9:45～ 庁議室